

「講演会」のお知らせ

主催：「情報科学を拓く人文的知の理論」プロジェクト

- * 第3専攻に属する人文系分野の比較的若手の教員から構成される本プロジェクトは、高度情報化社会における人文的知の分野のアイデンティティを構築することを目指して取り組まれています。なお本プロジェクトの推進にあたり、情報科学研究科長裁量経費より助成を受けています。

「情報科学を拓く人文的知の理論」プロジェクト（代表：関本英太郎）では本プロジェクトの研究の推進を図るため、以下の講演会を催します。学際性・文理融合を標榜する情報科学研究科にとって極めて有益かつ啓発的な講演会ですので、奮ってご出席下さるようお願いいたします。

2月25日（月） 午後3時～5時 場所：情報科学研究科中講義室

講演者： 竹倉憲也

（株式会社NTTデータ郵政システム事業本部 第二郵政ビジネスユニット
第一システム統括部 第一開発担当 課長）

「セクショナリズムの打破をめざして ～SNSを活用した社内コミュニケーションの促進～」

- * 竹倉氏より、本講演の出席者には、講演後の討議を実りあるものにするため、事前に「社内SNSに関するウェブ進化論的考察」（<http://takekura.exblog.jp/4673593/>）に目を通してほしいとの要望が寄せられています。

講演要旨

Web2.0時代の新たなコミュニケーションツールとしてSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）が注目を集めています。NTTデータでは、経営ビジョンを社員に浸透させ社員の意識改革・行動改革を促すためのツールとして2006年4月に社内SNS（Nexti）を構築しました。現在では全社員の約7割に当たる6200人の社員が参加する日本最大規模の社内SNSに成長し、社内のコミュニケーション活性化や課題解決のための情報インフラとして日々活発に利用されています。本講演では、このNextiの設立経緯や狙い、利用状況、効果や課題等について幾つかの具体的な活用事例や簡単なデモを織り交ぜながら分かりやすくご紹介します。

3月5日（水）午後3時～午後6時 場所：情報科学研究科中講義室

講演者： 佐倉 統

（東京大学大学院情報学環・教授。専門分野として科学技術社会論、進化生物学。）

「学際という幻想～文理融合ではなく文理越境を～」

<参考資料> 「学際研究の幹はどこにあるのか」（「思考の幹」学環紀要 0711）（希望者には配布）

講演要旨

学際研究や学際組織の難しさは、1960年代から指摘され続けている。ここではその理由を、進化理論を知識情報に適用することで説明を試みる。学問領域は生物における種（しゅ）に相当すると考えれば、学際組織はすなわち異種間交配であり、子孫を残せないことになる。一方で、ラバのように一代限りの雑種は頻繁に生じることから、学際研究も現実の問題を解決するための短期プロジェクトであれば成功する可能性があると思われる。すなわち、課題志向型である。これは経験則には合致する。この考察が正しいとすれば、大学における学際組織は副専攻のような位置づけが良いのかもしれない、異なる領域を融合して新たな学問領域を形成するのではなく、既存の学問領域を越境していく方法と展望と知的体力を身につけさせることが重要であろう。

- * 聴講無料。問い合わせは、関本英太郎（メディア文化論）まで。